

平成 19 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社
代表者名 取締役社長 小 林 浩
(コード番号 2282 東証・大証第一部)
問合せ先 広報部長 西 原 耕 一
T E L 06-6282-3031

子会社への転籍者募集の結果及び業績予想修正に関するお知らせ

本年 4 月 11 日に公表いたしました当社から子会社への転籍者募集の結果につきまして、下記の通り、応募者の人数及び影響額が確定いたしましたのでお知らせするとともに、当該事由の影響を含めた最近の業績動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 18 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期中間期の業績予想を修正いたします。

記

I 子会社への転籍者募集の結果

1. 転籍者募集の概要

①転籍募集対象者数及び転籍先

転籍募集対象者数： 175 名

転 籍 先：

日本ハム東部直販株式会社、日本ハム中部直販株式会社、日本ハム近畿直販株式会社、
日本ハム西部直販株式会社

②転籍日

平成 19 年 10 月 25 日

③特別退職金

当社規定に基づく退職金に加えて転籍加算金を支給。

2. 転籍者募集の結果

応募人員：上記募集に対して、合計 153 名の応募がありました。

3. 業績に与える影響

今回の転籍募集に係る転籍加算金 2,536 百万円に、管理職転籍制度及び選択定年制度の特別加算金を加えた特別退職金 3,107 百万円を連結・単体とも平成 19 年 9 月中間期の特別損失に計上いたします。

II 連結・単体業績予想数値の修正

1. 連結中間期（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 9 月 30 日）

(米国会計基準による)	売 上 高	営業利益	税引前利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成 19 年 5 月 18 日発表)	495,000	8,500	4,000	2,500
今 回 修 正 予 想(B)	506,400	6,080	△430	△2,230
増 減 額(B-A)	11,400	△2,420	△4,430	△4,730
増 減 率(%)	2.3	△28.5	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 9 月期)	485,388	5,981	4,453	2,533

(金額の単位：百万円)

2. 単体中間期（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成 19 年 5 月 18 日発表)	308,000	1,000	8,000	4,000
今 回 修 正 予 想(B)	324,900	1,730	9,380	4,190
増 減 額(B-A)	16,900	730	1,380	190
増 減 率(%)	5.5	73.0	17.3	4.8
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 9 月期)	305,288	△ 1,351	1,588	374

(金額の単位：百万円)

3. 中間期の修正理由

《単体決算》

食肉相場の堅調な推移により売上高が期初予想数値を上回ることや、販売費及び一般管理費の減少により、営業利益が期初公表数値を上回る見込みであります。経常利益及び中間純利益は、主に営業利益の増益により予想数値をそれぞれ修正いたします。

なお、特別損失において、特別退職金以外に東京支社移転費用 565 百万円、子会社の財務状況を勘案して関係会社株式評価損 495 百万円及び関係会社向けの債権に対する貸倒引当金繰入額 516 百万円を計上いたします。

《連結決算》

売上高は期初予想を上回るものの、営業利益は原料価格の高騰、原油高による資材費などの上昇及び飼料価格の高騰による原価高に加え、豪州事業の業績低迷などにより期初予想数値を下回る見込みであります。

税引前利益及び中間純利益は、営業利益の修正理由に加え、固定資産の減損損失（2,499 百万円）の計上などにより、予想を大きく下回る見込みとなりましたので予想数値を修正いたします。

なお、通期の連結・単体業績予想につきましては、現在見直しを行っており、本年 11 月 16 日の中間決算発表時に公表の予定です。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上